

介護給付適正化計画の確実な実施に向けた課題
【平成22年度実施目標】

1. 認定調査状況チェック 96.3%

【課題】

- ・ 今後は、更新・変更の認定調査の直営化の推進を図る（直営化の完全実施）

【今後の方針】

- ・ 予定保険者の割合は96%を超えている
- ・ 完全実施に向けて、保険者の理解を求める

2. ケアプランの点検 90.0%

【問題点】

- ・ 点検方法が不明、方法が分からない
- ・ 点検を行う人員がない

【解決策】

- ・ ケアプラン点検支援マニュアルの提示

3. 住宅改修等の点検 96.8%

【課題】

- ・ 点検（調査）対象数等の拡充を図る

【今後の方針】

- ・ 予定保険者の割合は96%を超えている
- ・ 完全実施に向けて、保険者の理解を求める

4. 医療情報との突合・縦覧点検 97.3%

【課題】

- ・ 医療保険との連携を図り、相互に適正化を実施する

【今後の方針】

- ・ 予定保険者の割合は97%を超えている
- ・ 完全実施に向けて、保険者の理解を求める。
- ・ 国保連合会による適正化システムの操作活用研修など一層の支援事業の推進を図る

5. 介護給付費通知 88.0%

【問題点】

- ・ 介護給付費通知の作成及び送付に要する費用負担
- ・ 事業の効果が分かりづらいため、費用対効果の理由から財政当局等の理解が得られない

【解決案】

- ・ 介護給付費通知作成のためのデータ提供における国保連合会の支援
- ・ 送付方法の検討（インターネットを活用した送付は慎重な意見が多いため、代替案の検討が必要）